

7/8 絹かわなすの魅力首都圏でPR



絹かわなすとほかのナスとの食べ比べ

日本野菜ソムリエ協会との自治体パートナー制度の一貫として、西条の伝統野菜「絹かわなす」の魅力首都圏の消費者に発信するワークショップが、東京都渋谷区で開催されました。初めて食べる「絹かわなす」のフルーティな甘さや柔らかい口ざわりに、参加者からは驚きの声が上がりました。

7/23・30 西条旬菜めぐり



地元の食材で白頃の腕前を披露しました

夏休みに入った7月23日と30日、西条産の食材を収穫し調理することで地産地消について考える「西条旬菜めぐり」が行われ、両日で50人余りの親子が参加しました。まず、地元の農家を訪れ「坊ちゃんかぼちゃ」を収穫。その後、食の創造館でそれらの食材を親子で協力しながら調理して、おいしくいただきました。

7/31 くいだおれフェスタ ジュニアグランプリ



▲料理部門1位：東予高2年 飯尾優斗さん(左)

▲菓子部門1位：西条農高2年 伊藤智保さん(右)

西条産の食材を使った料理・お菓子コンテスト(社)西条青年会議所主催)の決勝大会が食の創造館で開催され、一次審査を通過した市内の中学生・高校生12人が、創造性豊かな発想でその腕を競いました。最優秀作品は、西条運動公園で10月30日(日)開催の「西条くいだおれフェスタ第2弾」で発表されます。

8/7 オリックス・バファローズ 硬式野球教室



フルベンでは乾さんが熱血指導

次世代育成支援スポーツ事業「硬式野球教室」が、東予運動公園野球場等で開催されました。

近鉄バファローズで活躍した羽田耕一さんら元プロ野球選手のほか、北京五輪ソフトボールで捕手として金メダルを獲得した乾絵美さんなど6人の講師陣の指導の下、市内の小中学生101人が打撃や守備の基本を学びました。

選手の間を見ながら指導する羽田さん

まちのわだい Camera Spot



7/26~28 大学と地元高校生との交流講座



気分はもう大学院生!

フィールド大学構想事業「大学と地元高校生との交流講座」が、石鎚ふれあいの里で開講され、市内の高校生10人が参加しました。京都大学大学院地球環境学堂のご協力の下、大保木地区の社会・自然環境について住民への聞き取り調査やGPSを使った村落調査などで大学の研究活動に触れ、大学院生との交流も深めました。

7/18 西条市研修の船



あいにくの雨模様でしたが、約800人もの参加者を乗せたオレンジフェリーが岸壁を離れ「研修の船」がスタート。操舵室の見学や四国運輸局の出前講座、また今治造船(株)による船に関するクイズのほか、救命胴衣を実際に着用したり、救命ボートの展覧などを体験して、海への関心と理解を深める機会となりました。



興味津々の子どもたちの輝く目が印象的でした

7/31 マリンフェスタ in 西条



ライフジャケット着用で安心!

西条港を会場に開催した「マリンフェスタin西条(マリンスポーツ財団と共催)」には、延べ900人近くが来場。水上オートバイやバナナボートを楽しんだり、今治海上保安部の巡視艇「せとぎり」に体験乗船するなどして、海での安全な楽しみ方を学ぶとともに、海と親しむ1日を過ごすことができました。

7/9 小野誠治卓球教室

次世代育成支援スポーツ事業「卓球教室」が、宝くじの収益による助成を受けて、総合体育館で開催されました。指導は西予市出身で世界卓球選手権大会・男子シングルスで優勝経験のある小野誠治先生。

参加した子どもたちは、トップレベルの技術に大いに触発された様子でした。



この中から愛媛国体出場選手が輩出されるかも!